

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2011	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科
科目名称 [英語名称]	造園材料施設論 [Landscape Materials and Facilities]				
科目コード	710047	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	徳原 隆				
授業概要	<p>造園材料の種類は石材を中心として、多種多様である。これらには単体の材料である1次資材、それらに付加価値をつけた2次資材、3次資材として日進月歩している。本論は石材の他、セメント、コンクリート、金属、木材、プラスチックなどの材料を取り上げながら材料の特性や施工状況を合わせて学ぶ。また、造園施設(園路・広場、修景、休養、遊戯、運動、教養、便益、管理、ユニバーサルデザイン、防災、ピオトープ)について理解させる。また、各施設における的確な材料に関する判断を下せるために、石材を中心に分類および名称を学び、実物鑑定の方法を習得させる。</p>				
授業計画	<p>第1回: 造園施設と材料について 第2回: 岩石の分類 1) 火成岩 第3回: 岩石の分類 2) 堆積岩 第4回: 岩石の分類 3) 変成岩 第5回: 加工石材、自然石材 第6回: 木材、竹材、金属材料 第7回: セメント・コンクリート・レンガ・タイル 第8回: 園路・広場 第9回: 修景施設 第10回: 休養施設 第11回: 遊戯施設、運動施設 第12回: 教養施設、便益施設 第13回: 管理施設、防災施設 第14回: 新しい施設(ユニバーサルデザインなど) 第15回: まとめ</p>				
授業の到達目標	<p>造園の現場では、樹木だけではなく樹木以外の材料の特性を把握し、各種造園施設における目的と機能に適合した材料の選択に基づいてより良い空間を作り出している。本授業は各造園施設に適合したより良い材料の選択ができるように、材料見本を触れながら各材料の特性を把握するとともに、造園施設について学習することで、各施設について適切な配置が行えらるとともに、これらの施設において適切な材料の使用方法についての的確な判断が下せることを目指す。</p>				
評価方法	出席およびテストで総合評価する。				
テキスト	<p>造園施工管理技術編 (社)日本公園緑地協会 造園の施設とたてもの (小林・山口・近藤著) コロナ社</p>				
参考書	<p>岩石・岩盤図鑑 鹿島出版会 改訂4版 造園緑化材の知識 経済調査会 他</p>				
備考					